

仙南地域広域観光推進プランに係る令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画（施策順）

参考資料3

大河原地振

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 <sup>(注1)</sup>	他自治体・関係団体等との連携 <sup>(注2)</sup>	事業名	事業概要	事業期間 <sup>(注3)</sup>	R3年度実績	R4年度計画	財源 <sup>(注4)</sup>	再掲	回復戦略		
基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランドの構築	施策1 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開	①「みやぎ蔵王三十六景」及び「みやぎ蔵王温泉郷」を活用したイメージ戦略の展開	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議における観光振興に向けた事業立案	(1) 88	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議	ブランド創造会議開催事業	仙南地域の観光産業・食産業等に携わる事業者が参集し、「みやぎ蔵王三十六景」を活用した「食と観光のブランド化」を理念とし、地域振興・産業振興に資する活動を検討する。	継続	①ブランド創造会議開催 ・みやぎ観光振興会議仙南圏会議との併催 第1回:5/24、第2回:1/21開催 ・仙南地域広域観光推進プランの改訂及び各種事業の進捗確認、WGの活動報告等 ②温泉分科会開催（必要に応じて開催） ・みやぎ蔵王温泉郷FBでの情報発信（3月末現在投稿数40件）	①ブランド創造会議開催（みやぎ観光振興会議仙南圏会議との併催〈年3回程度〉） ・仙南地域広域観光推進プランに基づく取組の進捗確認、第5期みやぎ観光戦略プランの検討、みやぎ蔵王三十六景を活用した各種事業の検討 ②温泉分科会（必要に応じて開催） ・みやぎ蔵王温泉郷の連携した取組を検討			○		
			【重点3】再掲	(2) 27.89、105	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議 仙南地域地場産業振興協議会	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ③「地域の逸品」普及促進事業	「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の知名度向上、ブランド力向上を図る。	継続	・道の駅村田と連携して、5000円相当の「地域の逸品」詰め合わせセット作成。当部主催企画の当選者賞品として活用。 ・観光振興会議WGのモニターツアーの際に、白石市の「おもしろい市場」で「地域の逸品」コーナーを設置。 ・「地域の逸品」として計21品目を新規推奨し、取扱店に2店舗追加。	・仙南・置賜連携事業と連動したスポット紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援、各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催 ・管内道の駅等と連携した「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」詰め合わせセット作成や、SNSを活用した情報発信。			○	②	
				(3) 4.32、90、107	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議	広報展示事業	「みやぎ蔵王三十六景」や「みやぎ蔵王温泉郷」の認知度向上を図るための広報・展示を行う。	継続	令和3年4月27日に事務所twitterを開設し、積極的に投稿し、仙南地域の魅力を発信した（3月23日現在フォロワー数760人）。又事務所HPやブログ、FB等の広報媒体を活用し幅広く広報活動を行った。	継続	・twitter等のSNSを積極的に活用して広報・展示を行う。 ・当所twitterを活用し、仙南地域特産品プレゼントキャンペーンを行うことで、さらなる情報発信体制の強化につなげる。			○	②
	②広域連携による「みやぎ蔵王」のプロモーション	WEBを活用した仙南地域の一体的な観光情報発信	(4) 3.32、90、107	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議	広報展示事業	「みやぎ蔵王三十六景」や「みやぎ蔵王温泉郷」の認知度向上を図るための広報・展示を行う。	継続	令和3年4月27日に事務所twitterを開設し、積極的に投稿し、仙南地域の魅力を発信した（3月23日現在フォロワー数760人）。又事務所HPやブログ、FB等の広報媒体を活用し幅広く広報活動を行った。	継続	・twitter等のSNSを積極的に活用して広報・展示を行う。 ・当所twitterを活用し、仙南地域特産品プレゼントキャンペーンを行うことで、さらなる情報発信体制の強化につなげる。			○	②	
		【重点1(1)】	(5) 6.33、62.66、96	大河原地振	大河原地振	・管内市町 ・隣市町	広域観光・物産情報の発信強化事業	隣県や管内の観光イベントの一体的PRにより、仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	隣県の山形県、福島県との意見交換を行い、「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットに隣県のイベント情報も掲載したほか、管内のスイーツ情報なども掲載して作成。 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信を積極的に行った。	隣県、管内の「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットの作成 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信			○	②		
			(6) 5.33、62.66、96	大河原地振	大河原地振	・管内市町 ・隣市町	広域観光・物産情報の発信強化事業	隣県や管内の観光イベントの一体的PRにより、仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	隣県の山形県、福島県との意見交換を行い、「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットに隣県のイベント情報も掲載したほか、管内のスイーツ情報なども掲載して作成。 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信を積極的に行った。	隣県、管内の「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットの作成 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信			○	②		
	施策2 「みやぎ蔵王」ならではの観光素材の魅力向上	①観光資源の発掘・磨き上げ	各種協議会等における周辺観光圏との共同プロモーション	【重点1(1)】	(13) 67.97	大河原地振	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会（大河原地振、仙南2市7町、管内観光関連団体等）	・福島県福島市 ・福島県伊達市	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会事業	・県南地域への誘客と周遊促進に向けたPRを行う。	継続	・県南地域部会会議の開催（7/14） ・仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン期間におけるPRとして、9月1日からの特別企画を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により10月1日からの2か月実施、応募総数は803通。 ・「遊年版エリアガイド」ぐるり県南をリニューアル。 ・「ウォーキングアプリ」あるくとと連携した各市町村ウォーキングコース設定による誘客（9月～11月） ・みやぎ仙南サイクルーズム推進会議との連携（体験ライド中の観光PR等）	「巡るたび、出会う旅。東北 宮城・山形・福島」キャンペーン期間や県制150周年記念と併せてPRを行う。 ・県制150周年記念と併せて特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ！2022」の開催（7月～9月） ・ウォーキングアプリ「あるくと」と連携した各市町村ウォーキングコース設定による誘客（9月～11月） ・みやぎ仙南サイクルーズム推進会議との連携（体験ライド中の観光PR等）			○	②
			地域住民等による観光資源の発掘と発信	(15) 25、103	大河原地振	大河原地振	管内市町（食育コーディネーター、生活改善グループ等）	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ①仙南地域の郷土料理伝承等事業	仙南地域の郷土料理「おくずかけ」の知名度向上と観光資源としての活用を図る。	H30～	・地元密着の人気キャラクター「仙台弁けし」とコラボした「仙南の郷土料理『おくずかけ』を応援＆日曜日で味わおう！キャンペーン」を開催（1月14日から3月14日まで、温泉3館、飲食店8店舗参加）。キャンペーンオリジナルグッズ2種を作成し配布（手ぬぐい、アクリルキーホルダー）	・仙南・置賜連携事業と連動したスポット紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援、各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催			○	②	
			地域の優れた資源の磨き上げ	(21) 39-1、101-1	大河原地振	大河原地振	管内市町	仙南アドベンチャーツーリズム推進事業「子ども遊VIVA！みやぎZAO」	仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを達成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。	R4～R6	・子ども達が自然を体験できる遊び場に関する調査 ・仙南地域のアクティビティコンテンツを活用したイベント実施			○	②		

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 <sup>(注1)</sup>	他自治体・関係団体等との連携 <sup>(注2)</sup>	事業名	事業概要	事業期間 <sup>(注3)</sup>	R3年度実績	R4年度計画	財源 <sup>(注4)</sup>	再掲	回復戦略
基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランドの構築	施策2 「みやぎ蔵王」ならではの観光素材の魅力向上	②観光客を惹きつける「食」の広域展開	仙南地域ならではの食の名物づくり	(25) 15、103	大河原地振	大河原地振	管内市町 (食育コーディネーター・生活改善グループ等)	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ①仙南地域の郷土料理伝承等事業	仙南地域の郷土料理『おくずかけ』の知名度向上と観光資源としての活用を図る。	H30～	・地元密着の人気キャラクター「仙台弁こけし」とコラボした「仙南の郷土料理『おくずかけ』をお宿&日帰り味わう！キャンペーン」を開催(1月14日から3月14日まで。温泉宿3館、飲食店8店舗参加)。キャンペーンオリジナルグッズ2種を作成し配布(手ぬぐい、アクリルキーホルダー)	・仙南・置賜連携事業と連動したスポット紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催	○	○	②
				(26) 104	大河原地振	大河原地振	管内市町 (食品製造・販売事業者等)	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ②仙南スイーツ振興事業	仙南地域で愛されている「まちのお菓子屋さん」を広く周知し、菓子を観光コンテンツ(観光の目玉)とした仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	・せんにやんスイーツ&カフェマップ作成(11千部作成。管内市町の菓子店及びカフェ60店舗掲載)。 ・「せんにやんスイーツ&カフェラリー」を開催(10月23日から1月23日まで。管内市町の菓子店及びカフェ48店舗参加)	・仙南・置賜連携事業と連動したスポット紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催	○	○	②
				(27) 2.89、105	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議 仙南地域地場産業振興協議会	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ③「地域の逸品」普及促進事業	「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の知名度向上、ブランド力向上を図る。	継続	・道の駅村田と連携して、5000円相当の「地域の逸品」詰め合わせセット作成。当部主催企画の当選者賞品として活用。 ・観光振興会議WGのモニターツアーの際に、白石市の「おもしろい市場」で「地域の逸品」コーナーを設置。 ・「地域の逸品」として計21品目を新規推奨し、取扱店に2店舗追加。	・仙南・置賜連携事業と連動したスポット紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催 ・管内道の駅等と連携した「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」詰め合わせセット作成や、SNSを活用した情報発信。	○	○	②
	①WEBを活用した効果的な情報発信	SNS等を活用した情報発信 <b>【重点1(1)】</b>	(32) 3.4、90.107	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議	広報展示事業	「みやぎ蔵王三十六景」や「みやぎ蔵王温泉郷」の認知度向上を図るための広報・展示を行う。	継続	令和3年4月27日に事務所twitterを開設し、積極的に投稿し、仙南地域の魅力を発信した(3月23日現在フォロワー数760人)。又、事務所HPやブログ、FB等の広報媒体を活用し幅広く広報活動を行った。	○	○	②		
			(32-1)	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議	みやぎ蔵王温泉郷振興事業	「みやぎ蔵王温泉郷」の認知度向上を図るための広報・展示を行う。	R4～	—	温泉ソムリエが監修する温泉PR動画の作成、各種媒体を活用した情報発信	○	○	②	
			(33) 5.6、62.66、96	大河原地振	大河原地振	管内市町・隣市町	広域観光・物産情報の発信強化事業	隣県や管内の観光イベントの一体的PRにより、仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	隣県の山形県、福島県との意見交換を行い、「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットに隣県のイベント情報も掲載したほか、管内のスイーツ情報なども掲載して作成。 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信を積極的に行った。	・隣県、管内の「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットの作成 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信	○	○	②	
	②連携による効果的なイベントの展開	市町間連携による観光イベントの実施	(33-1) 62-1、66-1、96-1	大河原地振	大河原地振	白石市、七ヶ宿町・山形県置賜地域・国道113号線観光推進協議会	仙南・置賜連携事業	仙南地域及び山形県置賜地域の魅力を活かし、宮城・山形の相互交流を促進する。	R4	—	・宮城県制150周年記念に合わせて、伊達家の歴史を振り返る機会とするとともに、歴史と文化を切り口としたエンターテインメント型(謎解き・すごろく・携帯ゲームのなも等)の周遊企画を実施する。	○	○	②	
			(39-1) 21、101-1	大河原地振	大河原地振	管内市町	仙南アドベンチャーツーリズム推進事業「子ども遊VIVA!みやぎZAO」	仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを達成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。	R4～R6	—	・子ども達が自然を体験できる遊び場に関する調査 ・仙南地域のアクティビティコンテンツを活用したイベント実施	○	○	②	

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 <sup>(注1)</sup>	他自治体・関係団体等との連携 <sup>(注2)</sup>	事業名	事業概要	事業期間 <sup>(注3)</sup>	R3年度実績	R4年度計画	財源 <sup>(注4)</sup>	再掲	回復戦略	
基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	施策5 広域連携による多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	①周辺観光圏域との広域観光ルートの形成	隣接地域との連携による観光ルート形成	(62) 5.6, 33.06, 96	大河原地振	大河原地振	管内市町・隣市町	広域観光・物産情報の発信強化事業	隣県や管内の観光イベントの一体的PRにより、仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	隣県の山形県、福島県との意見交換を行い、「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットに隣県のイベント情報も掲載したほか、管内のスイーツ情報なども掲載して作成。 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信を積極的に行った。	隣県、管内の「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットの作成 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信	○		②	
				(62-1) 33-1 66-1 96-1	大河原地振	大河原地振	白石市、七ヶ宿町・山形県置賜地域・国道113号線観光推進協議会	仙南・置賜連携事業	仙南地域及び山形県置賜地域の魅力を活かし、宮城・山形の相互交流を促進する。	R4	—	宮城県制150周年記念に合わせて、伊達家の歴史を振り返る機会とともに、歴史と文化を切り口としたエンターテインメント型(謎解き、すごろく、携帯ゲームのなも等)の周遊企画を実施する。	宮城県制150周年記念に合わせて、伊達家の歴史を振り返る機会とともに、歴史と文化を切り口としたエンターテインメント型(謎解き、すごろく、携帯ゲームのなも等)の周遊企画を実施する。	○		②
		②仙南地域の観光ルートの形成	テーマ性のある観光ルート形成	(66) 5.6, 33.02, 96	大河原地振	大河原地振	管内市町・隣市町	広域観光・物産情報の発信強化事業	隣県や管内の観光イベントの一体的PRにより、仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	隣県の山形県、福島県との意見交換を行い、「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットに隣県のイベント情報も掲載したほか、管内のスイーツ情報なども掲載して作成。 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信を積極的に行った。	隣県、管内の「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットの作成 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信	○		②	
				(66-1) 33-1 62-1 96-1	大河原地振	大河原地振	白石市、七ヶ宿町・山形県置賜地域・国道113号線観光推進協議会	仙南・置賜連携事業	仙南地域及び山形県置賜地域の魅力を活かし、宮城・山形の相互交流を促進する。	R4	—	宮城県制150周年記念に合わせて、伊達家の歴史を振り返る機会とともに、歴史と文化を切り口としたエンターテインメント型(謎解き、すごろく、携帯ゲームのなも等)の周遊企画を実施する。	宮城県制150周年記念に合わせて、伊達家の歴史を振り返る機会とともに、歴史と文化を切り口としたエンターテインメント型(謎解き、すごろく、携帯ゲームのなも等)の周遊企画を実施する。	○		②
基本方針3 国内外から人が集まる「みやぎ蔵王」の観光基盤体制づくり	施策9 観光振興を推進する連携体制の強化	⑤周遊しやすい交通環境の整備	分かりやすい観光サインの整備	(70) 83	大河原地振	宮城県 仙南2市7町		観光サインの整備	観光客の円滑な周遊のため、観光案内サインの整備を行う。	継続	・市町村振興総合補助金「みやぎ路観光地整備事業」の実施【七ヶ宿町】 ・長老湖から不忘平和記念公園までの散策路を整備	・市町村振興総合補助金「みやぎ路観光地整備事業」の実施【白石市】 ・水芭蕉園内の木道改修	市町村振興総合補助金	○		②
				(83) 70	大河原地振	宮城県 仙南2市7町		観光サインの整備	観光客の円滑な周遊のため、観光案内サインの整備を行う。	継続	・市町村振興総合補助金「みやぎ路観光地整備事業」の実施【七ヶ宿町】 ・長老湖から不忘平和記念公園までの散策路を整備	・市町村振興総合補助金「みやぎ路観光地整備事業」の実施【白石市】 ・水芭蕉園内の木道改修	市町村振興総合補助金	○		②
				(88) 1	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議	ブランド創造会議開催事業	仙南地域の観光産業・食産業等に携わる事業者が参集し、「みやぎ蔵王三十六景」を活用した「食と観光のブランド化」を理念とし、地域振興・産業振興に資する活動を検討する。	継続	①ブランド創造会議開催 ・みやぎ観光振興会議仙南圏会議との併催 第1回：5/24、第2回：1/21開催 ・仙南地域広域観光推進プランの改訂及び各種事業の進捗確認、WGの活動報告等 ②温泉分科会開催(必要に応じて開催) ・みやぎ蔵王温泉郷FBでの情報発信(12月末現在投稿数40件)	①ブランド創造会議開催(みやぎ観光振興会議仙南圏会議との併催(年3回程度)) ・仙南地域広域観光推進プランに基づく取組の進捗確認、第5期みやぎ観光戦略プランの検討、みやぎ蔵王三十六景を活用した各種事業の検討 ②温泉分科会(必要に応じて開催) ・みやぎ蔵王温泉郷の連携した取組を検討	○		②	
				(89) 2.27, 105	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議 仙南地域地産産業振興協議会	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ③「地域の逸品」普及促進事業	「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の知名度向上、ブランド力向上を図る。	継続	・道の駅村田と連携して、5000円相当の「地域の逸品」詰め合わせセット作成。当部主催企画の当選者賞品として活用。 ・観光振興会議WGのモニターツアーの際に、白石市の「おもしろい市場」で「地域の逸品」コーナーを設置。 ・「地域の逸品」として計21品目を新規推奨し、取扱店に2店舗追加。	・仙南・置賜連携事業と連携したスポーツ紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催 ・管内道の駅等と連携した「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」詰め合わせセット作成や、SNSを活用した情報発信。	○		②	
基本方針4 新型コロナからの回復のための取組	施策10 新型コロナからの回復のための取組	①近郊観光需要の取り込み及びwithコロナ時代の新たな観光価値の提供に向けて、従来からの強みに加え、弱みを強みに転換する取組	体験型コンテンツの造成及び新たな観光価値提供に向けた受入環境整備	(95-1) 101	大河原地振	大河原地振	みやぎ観光振興会議 仙南圏会議	地元の魅力再発見・観光モデルプラン造成発信事業	みやぎ観光振興会議仙南圏会議WG活動として仙南地域における新たな観光モデルプランを造成し、近郊からの誘客を図る。	R2～R3	令和3年4月27日に事務所twitterを開設し、積極的に投稿し、仙南地域の魅力を発信した(3月23日現在フォロワー数760人)。又事務所HPやブログ、FB等の広報媒体を活用し幅広く広報活動を行った。	・twitter等のSNSを積極的に活用して広報・展示を行う。 ・当所twitterを活用し、仙南地域特産品プレゼントキャンペーンを行うことで、さらなる情報発信体制の強化につなげる。	○		②	
				(90) 3.4.32, 107	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議	広報展示事業	「みやぎ蔵王三十六景」や「みやぎ蔵王温泉郷」の認知度向上を図るための広報・展示を行う。	継続	令和3年4月27日に事務所twitterを開設し、積極的に投稿し、仙南地域の魅力を発信した(3月23日現在フォロワー数760人)。又事務所HPやブログ、FB等の広報媒体を活用し幅広く広報活動を行った。	・twitter等のSNSを積極的に活用して広報・展示を行う。 ・当所twitterを活用し、仙南地域特産品プレゼントキャンペーンを行うことで、さらなる情報発信体制の強化につなげる。	○		②	
基本方針4 新型コロナからの回復のための取組	施策10 新型コロナからの回復のための取組	①近郊観光需要の取り込み及びwithコロナ時代の新たな観光価値の提供に向けて、従来からの強みに加え、弱みを強みに転換する取組	体験型コンテンツの造成及び新たな観光価値提供に向けた受入環境整備	(95-1) 101	大河原地振	大河原地振	みやぎ観光振興会議 仙南圏会議	地元の魅力再発見・観光モデルプラン造成発信事業	みやぎ観光振興会議仙南圏会議WG活動として仙南地域における新たな観光モデルプランを造成し、近郊からの誘客を図る。	R2～R3	令和3年4月27日に事務所twitterを開設し、積極的に投稿し、仙南地域の魅力を発信した(3月23日現在フォロワー数760人)。又事務所HPやブログ、FB等の広報媒体を活用し幅広く広報活動を行った。	・twitter等のSNSを積極的に活用して広報・展示を行う。 ・当所twitterを活用し、仙南地域特産品プレゼントキャンペーンを行うことで、さらなる情報発信体制の強化につなげる。	○		②	
				(90) 3.4.32, 107	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議	広報展示事業	「みやぎ蔵王三十六景」や「みやぎ蔵王温泉郷」の認知度向上を図るための広報・展示を行う。	継続	令和3年4月27日に事務所twitterを開設し、積極的に投稿し、仙南地域の魅力を発信した(3月23日現在フォロワー数760人)。又事務所HPやブログ、FB等の広報媒体を活用し幅広く広報活動を行った。	・twitter等のSNSを積極的に活用して広報・展示を行う。 ・当所twitterを活用し、仙南地域特産品プレゼントキャンペーンを行うことで、さらなる情報発信体制の強化につなげる。	○		②	

基本方針	施策	小項目	主な取組	通し No.	報告担当	管内実施主体 <sup>(注1)</sup>	他自治体・関係団体等との連携 <sup>(注2)</sup>	事業名	事業概要	事業期間 <sup>(注3)</sup>	R3年度実績	R4年度計画	財源 <sup>(注4)</sup>	再掲	回復戦略
基本方針4 新型コロナからの回復のための取組	施策10 新型コロナからの回復のための取組	②地元の良さ再発見、磨き上げとPR等により、地域に利益を還元する取組	地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進 <b>【重点4】</b>	(96) 5.6, 33.62, 66	大河原地振	大河原地振	管内内市町・隣市町	広域観光・物産情報の発信強化事業	隣県や管内の観光イベントの一体的PRにより、仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	隣県の山形県、福島県との意見交換を行い、「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットに隣県のイベント情報も掲載したほか、管内のスイーツ情報なども掲載して作成。 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信を積極的に行った。	隣県、管内の「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットの作成 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信	○	○	○
				(96-1) 33-1 62-1 66-1	大河原地振	大河原地振	白石市、七ヶ宿町・山形県置賜地域・国道113号線観光推進協議会	仙南・置賜連携事業	仙南地域及び山形県置賜地域の魅力を活かし、宮城・山形の相互交流を促進する。	R4	—	宮城県制150周年記念に合わせて、伊達家の歴史を振り返る機会とするとともに、歴史と文化を切り口としたエンターテインメント型（謎解き、すごろく、携帯ゲーム的なもの等）の周遊企画を実施する。	○	○	○
				(97) 13.67	大河原地振	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会 (大河原地振、仙南2市7町、管内観光関連団体等)	福島県福島市 福島県伊達市	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会事業	県南地域への誘客と周遊促進に向けたPRを行う。	継続	・県南地域部会会議の開催(7/14) ・仙台・宮城(伊達)夏キャンペーン期間におけるPRとして、9月1日からの特別企画を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により10月1日からの2か月実施。応募総数は803通。 ・「通年版エアガイド」ぐるり県南」をリニューアル ・独自事業、みやぎ仙南サイクルーズム推進会議と連携し、初心者体験ライド中の補給食提供や観光PRを行った(計3回)。	・「巡るたび、出会う旅。東北 宮城・山形・福島」キャンペーン期間や県制150周年記念と併せてPRを行う。 ・県制150周年記念と併せた特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ！2022」の開催(7月～9月) ・「ウォーキングアプリ」あるくと連携した各市町村ウォーキングコース設定による誘客(9月～11月) ・みやぎ仙南サイクルーズム推進会議との連携(体験ライド中の観光PR等)	○	○	○
				(101) 95-1	大河原地振	大河原地振	みやぎ観光振興会議 仙南圏会議	地元の魅力再発見、観光モデルプラン造成発信事業	みやぎ観光振興会議仙南圏会議WG活動として仙南地域における新たな観光モデルプランを造成し、近郊からの誘客を図る。	R2～R3	—	仙南地域への誘客の推進に向けたツアー造成の参考とするため、地域の食・文化・歴史を体感できる田舎体験を組み合わせた新たな観光モデルコースとするモニターツアーを2回実施。 第1回8/4(村田・大河原・蔵王)、第2回11/13(白石・七ヶ宿)、第3回1/29は中止(角田・丸森・柴田) ・夏と秋のモニターツアー内容を含む日帰りツアー4商品を、令和4年度伊達なバス旅に提案し、3ツアーが造成された。	○	○	○
				(101-1) 21 39-1	大河原地振	大河原地振	管内内市町	仙南アドベンチャーツーリズム推進事業「子ども遊VIVA!みやぎZAO」	仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを造成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。	R4～R6	—	子ども達が自然を体験できる遊び場に関する調査 ・仙南地域のアクティビティコンテンツを活用したイベント実施	○	○	○
				(103) 15.25	大河原地振	大河原地振	管内内市町 (食育コーディネーター、生活改善グループ等)	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ①仙南地域の郷土料理伝承等事業	仙南地域の郷土料理「おくずかけ」の知名度向上と観光資源としての活用を図る。	H30～	—	・地元密着の人気キャラクター「仙台弁こけし」とコラボした「仙南の郷土料理『おくずかけ』をお宿＆日帰り味わう！キャンペーン」を開催(1月14日から3月14日まで、温泉宿3館、飲食店8店舗参加)。キャンペーンオンライングッズ2種を作成し配布(手ぬぐい、アクリルキーホルダー)	・仙南・置賜連携事業と連携したスポット紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催	○	○
		(104) 26	大河原地振	大河原地振	管内内市町 (食品製造・販売事業者等)	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ②仙南スイーツ振興事業	仙南地域で愛されている「まちのお菓子屋さん」を広く周知し、菓子を観光コンテンツ(観光の目玉)とした仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	—	・せんにゃんスイーツ&カフェマップ作成(11千部作成。管内内市町の菓子店及びカフェ60店舗掲載)。 ・「せんにゃんスイーツ&カフェラリー」を開催(10月23日から1月23日まで、管内内市町の菓子店及びカフェ48店舗参加)	・仙南・置賜連携事業と連携したスポット紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催	○	○	○	
		(105) 2.27, 89	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議 仙南地域地場産業振興協議会	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ③「地域の逸品」普及促進事業	「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の知名度向上、ブランド力向上を図る。	継続	—	・道の駅村田と連携して、5000円相当の「地域の逸品」詰め合わせセット作成。当部主催企画の当選者賞品として活用。 ・観光振興会議WGのモニターツアーの際に、白石市の「おもしろい市場」で地域の逸品コーナーを設置。 ・「地域の逸品」として計21品目を新規推奨し、取扱店に2店舗追加	・仙南・置賜連携事業と連携したスポット紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催 ・管内道の駅等と連携した「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」詰め合わせセット造成や、SNSを活用した情報発信。	○	○	○	
		(105-1)	大河原地振	大河原地振	管内内市町	地域周遊型誘客促進事業	仙南地域で愛されている「まちのお菓子屋さん」を広く周知し、菓子を観光コンテンツ(観光の目玉)とした仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R3	—	・せんにゃんスイーツ&カフェマップ作成(11千部作成。管内内市町の菓子店及びカフェ60店舗掲載)。 ・「せんにゃんスイーツ&カフェラリー」を開催(10月23日から1月23日まで、管内内市町の菓子店及びカフェ48店舗参加)	—	—	○	○	○
		(107) 3.4, 32, 90	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議	広報展示事業	「みやぎ蔵王三十六景」や「みやぎ蔵王温泉郷」の認知度向上を図るための広報・展示を行う。	継続	—	令和3年4月27日に事務所twitterを開設し、積極的に投稿し、仙南地域の魅力を発信した(3月23日現在フォロワー数760人)。又事務所HPやブログ、FB等の広報媒体を活用し幅広く広報活動を行った。	・twitter等のSNSを積極的に活用して広報・展示を行う。 ・当所twitterを活用し、仙南地域特産品プレゼントキャンペーンを行うことで、さらなる情報発信体制の強化につなげる。	○	○	○	

仙南地域広域観光推進プランに係る令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画（施策順）

白石市

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 <sup>(注1)</sup>	他自治体・関係団体等との連携 <sup>(注2)</sup>	事業名	事業概要	事業期間 <sup>(注3)</sup>	R3年度実績		R4年度計画	財源 <sup>(注4)</sup>	再掲	回復戦略	
基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランドの構築	施策1 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開	②広域連携による「みやぎ蔵王」のプロモーション	各種協議会等における周辺観光圏との共同プロモーション	(7) 34 100	白石市	白石市 七ヶ宿町	・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合	国道113号(二市二町)観光推進協議会事業	国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進	継続	みちのくおとぎ街道スタンプラリーを令和3年4月1日から9月30日まで開催。プレゼント抽選には598道の応募があった。また、るぶFREE(発行部数70,000部)に広告を掲載、各市町の秋の魅力についてPRを行った。		例年開催している国道113号沿線を巡るスタンプラリーの実施を予定している。また、各市町で開催される物産展への参加による交流や、観光関連雑誌への掲載などで「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指す。		○	②	
			【重点1(1)】	(9) 40.98				白石市 蔵王町 七ヶ宿町 川崎町	・山形県山形市 ・山形県上市市		OneZaoインバウンドプロモーション事業(6市町連携分)	蔵王連峰を囲む6市町が連携し、「蔵王(ZAO)」をキーワードに各市町の魅力ある滞在コンテンツを結びつけ、地域資源の磨き上げとプロモーション活動を併せて行う。					H31～R3
	施策2 「みやぎ蔵王」ならではの観光素材の魅力向上	①観光資源の発掘・磨き上げ	地域の優れた資源の磨き上げ		(20) 52.93	白石市	白石市		地域おこし協力隊活用事業	地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。	R2～	白石城での甲冑体験の実施のほか、白石城本丸広場でキャンペーンを2回実施。また、謎解き冊子の制作販売や地元企業とのコラボレーション商品を開発するなど、白石市特有の観光資源を活用した事業を行った。また、SNSを活用した情報発信や、複数のメディアに取り上げってもらうことで白石市のプロモーション活動を行った。		甲冑試着体験のほか、白石城本丸広場でのキャンペーンなど、白石市の特性を活かした観光振興事業の企画運営を行う。		○	①
				【重点1(2)】	(34) 7,100			白石市 蔵王町 七ヶ宿町	・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合	国道113号(二市二町)観光推進協議会事業		国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進	継続				
施策3 「みやぎ蔵王」の多彩な魅力のPRによる誘客促進	②連携による効率的なイベントの展開	市町間連携による観光イベントの実施		(40) 9.98	白石市	白石市 蔵王町 七ヶ宿町 川崎町	・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合	OneZaoインバウンドプロモーション事業(6市町連携分)	蔵王連峰を囲む6市町が連携し、「蔵王(ZAO)」をキーワードに各市町の魅力ある滞在コンテンツを結びつけ、地域資源の磨き上げとプロモーション活動を併せて行うもの。	H31～R3	台湾向けプロモーションは、台北インターナショナルトラベルフェアへの出展とオンラインツアーの配信を行った。トラベルフェアは、OneZaoブースに約3,000名が来場、市場動向を探るためアンケート調査も実施した。オンラインツアーは、国内在住のインフルエンサーを招請し、上山市内を紹介した。 ・中国向けにはITB中国(オンライン開催)に出展。10社から商談依頼があり、SNSグループに204名の登録があった。 ・タイでは、ジャバエキスボタイランドに出展。約2,900名がOneZaoブースに来場、台湾と同じアンケート調査を実施した。また、各国でBtoB営業を実施。国内では、各国の旅行会社関係者を招請し、ファミトリップを実施した。		※令和3年度で事業終了	観光復興交付金	○	②	
			③国外・県外からの誘客に向けたプロモーション	周辺観光圏との連携による海外プロモーション													
基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	施策4 宿泊を促す体験・滞在型メニューの充実	①新たな体験・滞在型観光メニューの作成	多彩な体験型観光メニューの作成	(52) 20.93	白石市	白石市		地域おこし協力隊活用事業	地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。	R2～	白石城での甲冑体験の実施のほか、白石城本丸広場でキャンペーンを2回実施。また、謎解き冊子の制作販売や地元企業とのコラボレーション商品を開発するなど、白石市特有の観光資源を活用した事業を行った。また、SNSを活用した情報発信や、複数のメディアに取り上げってもらうことで白石市のプロモーション活動を行った。		甲冑試着体験のほか、白石城本丸広場でのキャンペーンなど、白石市の特性を活かした観光振興事業の企画運営を行う。		○	①	
基本方針3 国内外から人が集まる「みやぎ蔵王」の観光基盤体制づくり	施策7 インバウンド受入体制の強化	②外国人向け案内表示等の整備	観光施設等における多言語案内表示等の整備	(76)	白石市	白石市	・蔵王町 ・七ヶ宿町 ・川崎町 ・山形県山形市 ・山形県上市市	OneZaoインバウンド受入環境整備事業(白石市単独分)	市内観光施設において、外国人向け体験型観光コンテンツの作成を推進しているが、キャッシュレス決済の導入を増やすことで、利用促進を目指す。また、市内の観光案内板などを多言語化し、キャッシュレス決済導入と併せてPRを行い、外国人に選ばれた観光地となることを目指す。	R3	観光案内板の多言語化は、市内中心部17箇所の案内板と、しろいし情報館の壁面の2面を実施した。各看板にQRコードを表示し、多言語ホームページに飛ぶように設定、利便性の向上を図った。 キャッシュレス決済の導入は、甲冑体験をはじめとする体験コンテンツ12件に導入した。また、今回の整備内容を外国人向けSNSに記事を投稿、プロモーションと併せてPRを行った。		※令和3年度で事業終了	観光復興交付金			
			③観光従事者等の外国人接客力向上	外国人おもてなし研修の実施			(79)	白石市	白石市 蔵王町 七ヶ宿町 川崎町	・山形県山形市 ・山形県上市市	OneZaoインバウンド受入環境整備事業(6市町連携分)	東京オリンピック・パラリンピック開催にあたり、連携6市町のうち4自治体がホストタウンとなっていることから、訪日外国人の大幅な増加が見込まれる。滞在しやすい顧客満足度の高い受入環境を整備し、リピート率の向上を目指す。	R3	中止	※令和3年度で事業終了	観光復興交付金	

仙南地域広域観光推進プランに係る令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画（施策順）

白石市

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 <sup>(注1)</sup>	他自治体・関係団体等との連携 <sup>(注2)</sup>	事業名	事業概要	事業期間 <sup>(注3)</sup>	R3年度実績	R4年度計画	財源 <sup>(注4)</sup>	再掲	回復戦略
基本方針4 新型コロナからの回復のための取組	施策10 新型コロナからの回復のための取組	①近郊観光需要の取り込み及びwithコロナ時代の新たな観光価値の提供に向けて、従来からの強みに加え、弱みを強みに転換する取組	体験型コンテンツの造成及び新たな観光価値提供に向けた受入環境整備	(93) 20.52	白石市	白石市		地域おこし協力隊活用事業	地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。	R2～	白石城での甲冑体験の実施のほか、白石城本丸広場でキャンパイベントを2回実施。また、謎解き冊子の制作販売や地元企業とのコラボレーション商品を開発するなど、白石市特有の観光資源を活用した事業を行った。また、SNSを活用した情報発信や、複数のメディアに取り上げってもらうことで白石市のプロモーション活動を行った。	甲冑試着体験のほか、白石城本丸広場でのキャンパイベントなど、白石市の特性を活かした観光振興事業の企画運営を行う。		○	—
			地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進	(98) 9.40	白石市	白石市 蔵王町 七ヶ宿町 川崎町	・山形県山形市 ・山形県上市市	OneZaoインバウンドプロモーション事業（6市町連携分）	蔵王連峰を囲む6市町が連携し、「蔵王（ZAO）」をキーワードに各市町の魅力ある滞在コンテンツを結びつけ、多様な旅行商品造成の促進とFIT・GIT向けに統一したプロモーションを進め、訪日外国人の宿泊増と滞在コンテンツの充実を目指す。	H31～R3	・台湾向けプロモーションは、台北インターナショナルトラベルフェアへの出展とオンラインツアーの配信を行った。トラベルフェアは、OneZaoブースに約3,000名が来場、市場動向を探るためアンケート調査も実施した。オンラインツアーは、国内在住のインフルエンサーを招聘し、上市市内を紹介した。 ・中国向けにはITB中国（オンライン開催）に出展。10社から商談依頼があり、SNSグループに204名の登録があった。 ・タイでは、ジャパンエキスポタイランドに出展、約2,900名がOneZaoブースに来場、台湾と同じくアンケート調査を実施した。また、各国でBtoB営業を実施。国内では、各国の旅行会社関係者を招聘し、ファミトリップを実施した。	※令和3年度で事業終了	観光復興交付金	○	—
				(100) 7.34	白石市	白石市 七ヶ宿町	・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合	国道113号（二市二町）観光推進協議会事業	国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進	継続	みちのくおとぎ街道スタンプラリーを令和3年4月1日から9月30日まで開催。プレゼント抽選には598名の応募があった。また、るるぶFREE（発行部数70,000部）に広告を掲載、各市町の秋の魅力についてPRを行った。	例年開催している国道113号沿線を巡るスタンプラリーの実施を予定している。また、各市町で開催される物産展への参加による交流や、観光関連雑誌への掲載などで「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指す。		○	—
		②地元の良さ再発見、磨き上げとPR等により、地域に利益を還元する取組	地元の魅力再発見による誘客促進・観光需要の創出	(109)	白石市	白石市		市内宿泊事業者応援事業	宿泊者数が激減している市内宿泊施設の利用促進を図るため、宿泊者1人につき1泊あたりの宿泊料金0.1/2（上限5,000円）を助成するもの。割引の対象は東北6県在住者とし、宿泊した人は白石市の特産品の割合が当たる抽選に応募できる。	R2～	令和3年11月1日から令和4年2月28日宿泊分までを対象期間とし、東北6県在住者に限定し、宿泊者1人につき1泊あたりの宿泊料金の0.1/2（上限5,000円）を助成した。1,304名の利用があったが、新型コロナウイルス第6波と重なり後半は利用者が落ち込んだ。	同様の事業を実施予定であるが、詳細は未定。	地方創生臨時交付金	—	—
				(110)	白石市	白石市		観光誘客促進事業	誘客促進と地域経済の活性化を目的とし、飲食店など市内観光事業者の特典クーポンを付けたガイドブックを制作。また、新型コロナウイルス感染症対策を注意喚起するツールとしてマスクケースを製作、配布するもの。	R2～R3	令和2年度に作成したガイドブックの内容を更新し、増刷を行った。前回と同様に、市内観光事業者の特典クーポンを付けた。市内の主要な観光施設に配架したほか、近隣の市町や観光PRイベントなどで配布を行った。	※令和3年度で事業終了	地方創生臨時交付金	—	—
				(111)	白石市	白石市 白石商工会議所 白石市観光協会		新型コロナウイルス経済対策割増商品券事業	新型コロナウイルス感染症拡大によって大きな影響を受けた市経済回復と市民生活を応援するため、市内で利用できる割増商品券を販売。	R2～	使用期間を令和3年9月1日から令和4年1月31日までとし、15,000セット販売。応募多数であったため抽選を行い、当選者に販売した。参加店舗は小売業を中心に248店舗、商品券の回収率は99.58%だった。	同様の事業を実施予定であるが、詳細は未定。	地方創生臨時交付金	—	—
				(111-1)	白石市	白石市観光協会		白石うーめん総選挙スタンプラリー事業	観光需要喚起と併せて市内事業者支援を目的とし、特産品の温感をテーマにデジタルスタンプラリー方式により実施するもの。	R3	令和3年12月1日から令和4年2月28日まで、市内37箇所を対象スポットとして実施した。総スタンプ数は1,903で、特設サイトの閲覧者は約2,000名であった。SNS+WEB広告でPRを行ったことで、白石温熱の知名度向上につながった。	同様の事業を実施予定であるが、詳細は未定。	地方創生臨時交付金	—	—

仙南地域広域観光推進プランに係る令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画（施策順）

角田市

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 <sup>(注1)</sup>	他自治体・関係団体等との連携 <sup>(注2)</sup>	事業名	事業概要	事業期間 <sup>(注3)</sup>	R3年度実績	R4年度計画	財源 <sup>(注4)</sup>	再掲	回復戦略	
基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランドの構築	施策1 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開	②広域連携による「みやぎ蔵王」のプロモーション	各種協議会等における周辺観光圏との共同プロモーション <b>【重点1(1)】</b>	(8)	角田市	角田市	・亘理町 ・山元町	イベント運営事業	登山ルートの紹介も兼ねて四方山の魅力を再発見してもらう。	継続	11月23日(火・祝)実施 参加者:40名 講師:亘理まちづくり協議会3名 亘理町の一口羊羹、山元町のゆずマドレーヌ、角田市の干し梅をお土産として参加者へ提供 毎年の恒例イベントとして参加者に喜ばれている。	・関係市町と連携し参加者の募集を募り、登山ルートの設定や、四方山に詳しい講師を招き、四方山の良さを伝える。また、各町の特産品を活かしたお土産セット(菓子類)を用意し参加者へ提供する。 ・四方山トレッキングの開催(10月22日(土)予定)				
				(12) 36	角田市	角田市 柴田町 丸森町	・阿武隈急行(株) ・沿線市町	阿武隈急行沿線開発推進協議会事業	阿武隈急行線の運営支援及び沿線開発の促進	継続	・あぶQウォークについては12月5日に宮城県黒川沿線自治体である柴田町、丸森町と合同開催 ・沿線活性化事業の開催については「わたしたちのあぶくま急行絵画展(11月1日～30日)」 「フォトコンテストの展示(8月1日～9月30日)」を行った。 ・角田市単独のあぶくま急行線利用促進事業として、「お絵かきトレイン(8月8日、12月5日)」,各種イベント時の駅からシャトルバス運行を実施した。	・あぶQウォークの開催(時期未定) ・沿線活性化事業の開催 ・阿武隈急行線利用促進事業の開催		○		
	施策2 「みやぎ蔵王」ならではの観光素材の魅力向上	①観光資源の発掘・磨き上げ	地域の優れた資源の磨き上げ	(17) 22	角田市	角田市商工会	角田市	角田グルメプロジェクト	角田ブランドの推進	H29～R3	市内業者の美よし家、中華料理かんの、(株)veeelと連携して新メニューやギフト商品の開発を行う予定としているが、調整の段階。(昨年度同様、販売には至らなかった)			○		
				(22) 17	角田市	角田市商工会	角田市	角田グルメプロジェクト	角田ブランドの推進	H29～R3	市内業者の美よし家、中華料理かんの、(株)veeelと連携して新メニューやギフト商品の開発を行う予定としているが、調整の段階。(昨年度同様、販売には至らなかった)			○		
	基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	施策3 「みやぎ蔵王」の多彩な魅力のPRによる誘客促進	②連携による効率的なイベントの展開	市町間連携による観光イベントの実施	(36) 12	角田市	角田市 柴田町 丸森町	・阿武隈急行(株) ・沿線市町	阿武隈急行沿線開発推進協議会事業	阿武隈急行線の運営支援及び沿線開発の促進	継続	・あぶQウォークについては12月5日に宮城県黒川沿線自治体である柴田町、丸森町と合同開催 ・沿線活性化事業の開催については「わたしたちのあぶくま急行絵画展(11月1日～30日)」 「フォトコンテストの展示(8月1日～9月30日)」を行った。 ・角田市単独のあぶくま急行線利用促進事業として、「お絵かきトレイン(8月8日、12月5日)」,各種イベント時の駅からシャトルバス運行を実施した。	・あぶQウォークの開催(時期未定) ・沿線活性化事業の開催 ・阿武隈急行線利用促進事業の開催		○	
					施策4 宿泊を促す体験・滞在型メニューの充実	①新たな体験・滞在型観光メニューの造成	多彩な体験型観光メニューの造成 <b>【重点2】</b>	(46) 68	角田市	角田市	道の駅かくた	体験型かくたチャレンジ推進事業	道の駅をプラットフォームとする地域資源をフル活用した体験型観光を推進	R1～R3	令和2年度までに構築したシステム検証のためのモデル事業を実施。 ・グリーンツーリズム 6月13日 梅もぎ体験(梅のもぎ取り、梅ジュースづくり) 7月24日 見たい・知りたい・仙台牛(牛の餌やり、農産物収穫体験) 他6件実施の予定だったが、新型コロナウイルス感染症により1件が中止となった。 ・サイクルツーリズム 電動アシスト自転車を使用して、角田市内の観光地を周遊した。	地方創生交付金
(68) 46	角田市	角田市	道の駅かくた	体験型かくたチャレンジ推進事業				道の駅をプラットフォームとする地域資源をフル活用した体験型観光を推進	R1～R3	令和2年度までに構築したシステム検証のためのモデル事業を実施。 ・グリーンツーリズム 6月13日 梅もぎ体験(梅のもぎ取り、梅ジュースづくり) 7月24日 見たい・知りたい・仙台牛(牛の餌やり、農産物収穫体験) 他6件実施の予定だったが、新型コロナウイルス感染症により1件が中止となった。 ・サイクルツーリズム 電動アシスト自転車を使用して、角田市内の観光地を周遊した。	地方創生交付金	○				

仙南地域広域観光推進プランに係る令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画（施策順）

蔵王町

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 <sup>(注1)</sup>	他自治体・関係団体等との連携 <sup>(注2)</sup>	事業名	事業概要	事業期間 <sup>(注3)</sup>	R3年度実績	R4年度計画	財源 <sup>(注4)</sup>	再掲	回復戦略
基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランド構築の展開	施策1 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド構築の展開	②広域連携による「みやぎ蔵王」のプロモーション	各種協議会等における周辺観光圏との共同プロモーション 【重点1(1)】	(10) 16.35	蔵王町	白石市 蔵王町	秋田県由利本荘市	みちのく真田ゆかりの地事業	真田幸村公ゆかりの地で連携し、みちのく真田の歴史をPRする。	継続	昨年同様、新型コロナの影響によるイベント中止に伴い、相互物販等事業は実施できていない。	・各市町のイベントにおいて相互にブースを出展(各1回) ・持ち回りで特別展開催等のイベントを実施		○	
	施策2 「みやぎ蔵王」ならではの観光素材の魅力向上	①観光資源の発掘・磨き上げ	地域の優れた資源の磨き上げ	(16) 10.35	蔵王町	白石市 蔵王町	秋田県由利本荘市	みちのく真田ゆかりの地事業	真田幸村公ゆかりの地で連携し、みちのく真田の歴史をPRする。	継続	昨年同様、新型コロナの影響によるイベント中止に伴い、相互物販等事業は実施できていない。	・各市町のイベントにおいて相互にブースを出展(各1回) ・持ち回りで特別展開催等のイベントを実施		○	
	施策3 「みやぎ蔵王」の多彩な魅力のPRによる誘客促進	②連携による効率的なイベントの展開	市町間連携による観光イベントの実施	(35) 10.16	蔵王町	白石市 蔵王町	秋田県由利本荘市	みちのく真田ゆかりの地事業	真田幸村公ゆかりの地で連携し、みちのく真田の歴史をPRする。	継続	昨年同様、新型コロナの影響によるイベント中止に伴い、相互物販等事業は実施できていない。	・各市町のイベントにおいて相互にブースを出展(各1回) ・持ち回りで特別展開催等のイベントを実施		○	
基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	施策4 宿泊を促す体験・滞在型メニューの充実	①新たな体験・滞在型観光メニューの造成	多彩な体験型観光メニューの造成 【重点2】	(47) 56	蔵王町	蔵王町	(一社)蔵王町観光物産協会、蔵王町商工会、遠刈田温泉旅館組合他	蔵王町体験交流活動推進協議会事業	蔵王町内の豊かな自然や産業、農山村文化などの多彩な資源を活用し、都市部住民等との体験型交流事業を積極的に推進し、交流人口増加と地域産業の振興を図り、もって地域活性化に資することを目的とする。	継続	教育旅行3校、1施設受入(乳製品づくり体験、こけし絵付け体験、大根狩り体験) 活動の新規受入れ先を開拓するため、教育旅行受入プログラム検討会を開催予定(12月、1月に各1回)※新型コロナウイルスのため中止	・事業の受け入れ体制整備 ・事業関係団体の連携、連絡調整及びリーダー等の育成 ・体験メニューの開発並びに情報発信		○	
		③教育旅行等の誘致	教育旅行等の誘致活動	(56) 47	蔵王町	蔵王町	(一社)蔵王町観光物産協会、蔵王町商工会、遠刈田温泉旅館組合他	蔵王町体験交流活動推進協議会事業	蔵王町内の豊かな自然や産業、農山村文化などの多彩な資源を活用し、都市部住民等との体験型交流事業を積極的に推進し、交流人口増加と地域産業の振興を図り、もって地域活性化に資することを目的とする。	継続	教育旅行3校、1施設受入(乳製品づくり体験、こけし絵付け体験、大根狩り体験) 活動の新規受入れ先を開拓するため、教育旅行受入プログラム検討会を開催予定(12月、1月に各1回)※新型コロナウイルスのため中止	・事業の受け入れ体制整備 ・事業関係団体の連携、連絡調整及びリーダー等の育成 ・体験メニューの開発並びに情報発信		○	
	施策6 周遊促進に向けた情報・交通のネットワーク化	③仙南地域の交通ネットワークの充実	交通ネットワークの充実 【重点2】	(71) 83-1	蔵王町	蔵王町		みやぎ蔵王シャトルバス運行事業	昨年度まで運行していたみやぎ蔵王三源郷エアポートライナーを今年度は蔵王町単独で運行し、仙台空港～蔵王町・遠刈田温泉～蔵王キツネ村を1日1、5往復運行予定。	R2.9～R4.3	新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航が難しいことから事業実施を見送った。	新型コロナウイルス感染症の影響より渡航が難しいことから、事業実施予定なし。	観光復興交付金	○	
基本方針3 国内外から人が集まる「みやぎ蔵王」の観光基盤体制づくり	施策7 インバウンド受入体制の強化	⑤周遊しやすい交通環境の整備	交通ネットワークの充実 【重点2】再掲	(83-) 1)71	蔵王町	蔵王町		みやぎ蔵王シャトルバス運行事業	昨年度まで運行していたみやぎ蔵王三源郷エアポートライナーを今年度は蔵王町単独で運行し、仙台空港～蔵王町・遠刈田温泉～蔵王キツネ村を1日1、5往復運行予定。	R2.9～R4.3	新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航が難しいことから事業実施を見送った。	新型コロナウイルス感染症の影響より渡航が難しいことから、事業実施予定なし。	観光復興交付金	○	
基本方針4 新型コロナからの回復のための取組	施策10 新型コロナからの回復のための取組	②地元の良さを再発見、磨き上げとPR等により、地域に利益を還元する取組	地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進 【重点4】	(101-) 2)	蔵王町	蔵王町		観光誘客にぎわい創出事業	蔵王町への観光誘客を目的に、広報宣伝事業・イベント開催等を実施し、近郊からの誘客を図る。	R2～	・12月1日～約一か月の期間、在仙4局のテレビCM、在仙2局のラジオCM、新聞広告掲載、仙台駅デジタルサイネージでのPR映像放映を実施中。 ・10月18日～11月6日の期間中、マイクロツーリズム推進として、互理町、山元町、丸森町、新地町、相馬市に蔵王町パンフレットのダイレクトメールを発送済み。	—	—	—	—
			誘客促進・観光需要の創出 【重点4】	(112)	蔵王町	蔵王町		宿泊応援事業	町内に宿泊されたお客様を対象に蔵王町の特産品を「バルティエ」として提供することで、観光誘客および地域の特産品PRを実施する。	R2～	仙台牛やフランス鴨などの特産品が当たるキャンペーンを実施中。抽選会終了後、2月中旬以降から順次発送予定。	—	—	—	—



仙南地域広域観光推進プランに係る令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画（施策順）

七ヶ宿町

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 <sup>(注1)</sup>	他自治体・関係団体等との連携 <sup>(注2)</sup>	事業名	事業概要	事業期間 <sup>(注3)</sup>	R3年度実績	R4年度計画	財源 <sup>(注4)</sup>	再掲	回復戦略	
基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランドの構築	施策2 「みやぎ蔵王」ならではの観光素材の魅力向上	①観光資源の発掘・磨き上げ	地域の優れた資源の磨き上げ	(18) 24, 106	七ヶ宿町	七ヶ宿町	・七ヶ宿町商工会 ・七ヶ宿町観光協会	七ヶ宿ブランド事業	七ヶ宿の優れた町産品等や取り組みに対し、七ヶ宿ブランドの認定を行う。	H28～	・コロナ禍ではあったが、少しづつ物産展や出店の機会が増え、参加をし販売の促進を図ることができた。	特選品(米・漬物)の周知拡大を図るほか、既存認定品の供給拡大等を行う。		○	②	
		②観光客を惹きつける“食”の広域展開	仙南地域ならではの食の名物づくり	(24) 18, 106	七ヶ宿町	七ヶ宿町	・七ヶ宿町商工会 ・七ヶ宿町観光協会	七ヶ宿ブランド事業	七ヶ宿の優れた町産品等や取り組みに対し、七ヶ宿ブランドの認定を行う。	H28～	・コロナ禍ではあったが、少しづつ物産展や出店の機会が増え、参加をし販売の促進を図ることができた。	特選品(米・漬物)の周知拡大を図るほか、既存認定品の供給拡大等を行う。		○	②	
基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	施策4 宿泊を促す体験・滞在型メニューの充実	①新たな体験・滞在型観光メニューの造成	多様な体験型観光メニューの造成	(48) 102	七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿まちづくり(株)	七ヶ宿ファンクラブ事業	「人と場所」や「人と人」の関係性を大切に、当町の応援団となるサポーターを募り、積極的な交流を図ることで、リピーターの拡大や移住定住につながる活動を行う。	H28～	・ファンクラブ会員へは毎月、町の広報やイベント案内等の情報発信を行った。	特典の内容や、入会費・年会費を新たに協議し、会員数の増加を図り、誘客推進に繋げる。		○	②	
			②多様な宿泊サービスの提供	宿泊を伴う体験型観光の受入体制づくり	(54) 94	七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿まちづくり(株)	農業体験などによる宿泊型交流事業	宿泊型交流施設を整備することにより、田植えや稲刈りを始めとした様々な農業体験による宿泊型の都市農村交流やグリーンツーリズムを推進する。	R1～	・5月から毎月、農業体験や季節を感じるようなイベント、町内でのサイクルツーリズム企画として、スタンプラリーを開催し、七ヶ宿の魅力や魅力を伝える、観光客数の増加を図った。	今年度も年間を通して七ヶ宿の季節を感じながら、田植えや稲刈り・畑の収穫イベントを開催し、グリーンツーリズムの充実を図る。また、町内にあるYuz farm & vineyardさんとのコラボレーション企画として、ワイン用ぶどう苗木植樹体験を開催するなど町内の起業家の方たちと交流しながらのグリーンツーリズムも新しく計画中である。		○	①
			南蔵王やまびこの森を活用したアドベンチャーツーリズムの推進	七ヶ宿まちづくり(株)	南蔵王やまびこの森を活用したアドベンチャーツーリズムの推進	(55) 95	七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿まちづくり(株)	南蔵王の恵まれた自然環境を最大限に活かした観光拠点として再整備した。南蔵王やまびこの森を活用し、サップ体験やトレッキングなどのアクティビティの充実を図ることによって宿泊交流人口の増加を図る。	R1～	・周辺の観光地を整備し、ハイキングコースを充実させ、観光客の増加を図った。 ・コロナ禍でも楽しめるアクティビティへの関心が全国的に高まり、多くの方に足を運んでいただき、SAP体験も好評であった。	今年度もサップ体験やトレッキングなどのアクティビティの充実を図り、誘客推進に繋げる。		○	①
基本方針4 新型コロナからの回復のための取組	施策10 新型コロナからの回復のための取組	①近郊観光需要の取り込み及びwithコロナ時代の新たな観光価値の提供に向けて、従来からの強みに加え、弱みを強みに転換する取組	体験型コンテンツの造成及び新たな観光価値提供に向けた受入環境整備	(94) 54	七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿まちづくり(株)	農業体験などによる宿泊型交流事業	宿泊型交流施設を整備することにより、田植えや稲刈りを始めとした様々な農業体験による宿泊型の都市農村交流やグリーンツーリズムを推進する。	R1～	・5月から毎月、農業体験や季節を感じるようなイベント、町内でのサイクルツーリズム企画として、スタンプラリーを開催し、七ヶ宿の魅力や魅力を伝える、観光客数の増加を図った。	今年度も年間を通して七ヶ宿の季節を感じながら、田植えや稲刈り・畑の収穫イベントを開催し、グリーンツーリズムの充実を図る。また、町内にあるYuz farm & vineyardさんとのコラボレーション企画として、ワイン用ぶどう苗木植樹体験を開催するなど町内の起業家の方たちと交流しながらのグリーンツーリズムも新しく計画中である。		○	-	
			南蔵王やまびこの森整備事業	七ヶ宿まちづくり(株)	南蔵王やまびこの森整備事業	(95) 55	七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿まちづくり(株)	南蔵王の恵まれた自然環境を最大限に活かした観光拠点として再整備することで、宿泊交流人口の増加を図るとともに地元住民による味増作り体験や豆腐作り体験などをとおして地元の食文化と直にふれあう機会を創出することを目的とする。	R1～	・周辺の観光地を整備し、ハイキングコースを充実させ、観光客の増加を図った。 ・コロナ禍でも楽しめるアクティビティへの関心が全国的に高まり、多くの方に足を運んでいただき、SAP体験も好評であった。	今年度もサップ体験やトレッキングなどのアクティビティの充実を図り、誘客推進に繋げる。		○	-
		②地元の良さ再発見。磨き上げとPR等により、地域に利益を還元する取組	地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進	【重点4】	(102) 48	七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿まちづくり(株)	七ヶ宿ファンクラブ事業	「人と場所」や「人と人」の関係性を大切に、当町の応援団となるサポーターを募り、積極的な交流を図ることで、リピーターの拡大や移住定住につながる活動を行う。	H28～	・ファンクラブ会員へは毎月、町の広報やイベント案内等の情報発信を行った。	特典の内容や、入会費・年会費を新たに協議し、会員数の増加を図り、誘客推進に繋げる。		○	-
			仙南地域の食と観光のブランド化とWEBを活用した情報発信	【重点4】	(106) 18,24	七ヶ宿町	七ヶ宿町	・七ヶ宿町商工会 ・七ヶ宿町観光協会	七ヶ宿ブランド事業	七ヶ宿の優れた町産品等や取り組みに対し、七ヶ宿ブランドの認定を行う。	H28～	・コロナ禍ではあったが、少しづつ物産展や出店の機会が増え、参加をし販売の促進を図ることができた。	特選品(米・漬物)の周知拡大を図るほか、既存認定品の供給拡大等を行う。		○	-
		地元の魅力再発見による誘客促進・観光需要の創出	【重点4】	(113)	七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿町商工会	町外から来た観光客を対象に町内の飲食店や道の駅などで使える商品券を発行し、近郊からの誘客と消費拡大を図る	R3	町外者が購入できる「七ヶ宿まるごと満喫クーポン券」を道の駅などで販売。	未定		-	-		

仙南地域広域観光推進プランに係る令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画（施策順）

大河原町

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 <sup>(注1)</sup>	他自治体・関係団体等との連携 <sup>(注2)</sup>	事業名	事業概要	事業期間 <sup>(注3)</sup>	R3年度実績	R4年度計画	財源 <sup>(注4)</sup>	再掲	回復戦略
基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランドの構築	施策2 「みやぎ蔵王」ならではの観光素材の魅力向上	②観光客を惹きつける「食」の広域展開	仙南地域ならではの食の名物づくり	(23)	大河原町	大河原町	大河原町観光物産協会	食のブランド化事業	地域食材を活用した名物づくり	R1～	新型コロナウイルスの感染拡大を受け桜まつり等各イベントが中止となったことや、食品を取り扱う事業であったことから、令和3年度での実施を見送ることとなった。	・町内飲食店の店主が講師となる食の講座 「食の職人☆手ほどき講座」を開催予定			
			連携による地場産品の販売促進活動	(28)	大河原町	仙南2市7町		仙南地域地場産業振興協議会	仙南2市7町が一体となり、地場産品の販路拡大に向けた事業を実施する。	・県庁1階ロビー販売会に出展(10月4日～8日) ・仙南うまいものマルシェ実施(11月13日・14日・仙台市勾当台公園内) 上記事業の実施により、仙南地域の地場産品の販売促進を図った。	・東京池袋のふるさとプラザでの仙南地域の物産展開催を予定。				
基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	施策5 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成	②仙南地域の観光ルートの形成	テーマ性のある観光ルート形成	(65)	大河原町	仙南2市7町		みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議事業	仙南地域の観光資源をつなぎ、交流人口等増加並びに地域活性化を図るため、仙南地域市町の連携によりサイクルツーリズム事業を推進する。	R1～	・初級サイクリスト体験ライド ①蔵王町・村田町コース(10月30日) ②角田市・丸森町コース(12月19日) ③柴田町・大河原町コース(3月13日) ・フェイスブック、インスタグラム開設 ・R4実施のフォトコンテスト告知 ・WEB広告による圏域のPR・情報発信	・初級サイクリスト体験ライド 白石市・七ヶ宿町・川崎町・村田町コース ・フォトコンテストの実施 ・デジタルスタンプラリー(蔵王三十六景との連携を模索) ・SNS発信	市町村振興総合補助金		

仙南地域広域観光推進プランに係る令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画（施策順）

村田町

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 <sup>(注1)</sup>	他自治体・関係団体等との連携 <sup>(注2)</sup>	事業名	事業概要	事業期間 <sup>(注3)</sup>	R3年度実績	R4年度計画	財源 <sup>(注4)</sup>	再掲	回復戦略
基本方針4 新型コロナからの回復のための取組	施策10 新型コロナからの回復のための取組	②地元の良さ再発見、磨き上げとPR等により、地域に利益を還元する取組	仙南地域の食と観光のブランド化とWEBを活用した情報発信 【重点4】	(108)	村田町	村田町観光物産協会	村田町	観光HP構築事業	観光HP構築による観光情報の発信・プロモーションを行う	R2～	村田町観光物産協会において、随時情報を発信し、観光サイトの魅力向上、認知度向上を図った。	継続して観光HPやSNSによる情報発信を実施し、観光客の誘致及び認知度の向上を図る。	地方創生交付金	—	—
			地元の魅力再発見による誘客促進・観光需要の創出 【重点4】	(114)	村田町	村田町商工会	村田町	商店街にぎわい創出事業 生活応援スタンプラリー事業	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している中小規模の小売・サービス事業者等の売上回復を図る	R2～	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している町内事業者等の売上回復を図った。	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している町内事業者等の売上回復を図る。	地方創生交付金	—	—
			地元経済応援クーポン券配布事業	(115)	村田町	村田町	村田町商工会		新型コロナウイルス感染症の影響により甚大な打撃を受けた地域経済の活性化及び地域住民支援	R2～	新型コロナウイルス感染症の影響により甚大な打撃を受けた地域経済の活性化及び地域住民支援を図った。	新型コロナウイルス感染症の影響により甚大な打撃を受けた地域経済の活性化及び地域住民支援を図る。(1世帯当たり10,000円分)	地方創生交付金	—	—

仙南地域広域観光推進プランに係る令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画（施策順）

柴田町

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 <sup>(注1)</sup>	他自治体・関係団体等との連携 <sup>(注2)</sup>	事業名	事業概要	事業期間 <sup>(注3)</sup>	R3年度実績	R4年度計画	財源 <sup>(注4)</sup>	再掲	回復戦略		
基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランドの構築	施策1 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開	②広域連携による「みやぎ蔵王」のプロモーション	各種協議会等における周辺観光圏との共同プロモーション <b>【重点1(1)】</b>	(11) 29.74	柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・「花のまち柴田」インバウンド推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業（インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業）	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指すし、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	継続	【大河原町】 ・おがわら桜イルミネーション【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination 2021開催→12月 ・一目千本桜周辺の景観形成として船岡城址公園や白石川沿いの植栽を完了。 【2町共通】 ・台湾の旅行会社20社を訪問し、一目千本桜のPRを行った。 ・2町共通パンフ・マップ A6版(3月製作完了)	【大河原町】 ・おがわら桜イルミネーション【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination 【2町共通】 ・2町共通桜パンフレット制作 ・一目千本桜景観形成100年記念事業（思い出フォトコンテスト、公用車ラッピング等）	観光復興交付金（繰越） 町費	○			
	施策3 「みやぎ蔵王」の多様な魅力のPRによる誘客促進	①WEBを活用した効果的な情報発信	観光PR動画の発信 <b>【重点1(1)】</b>	(29) 11.74	柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・「花のまち柴田」インバウンド推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業（インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業）	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指すし、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	継続	【大河原町】 ・おがわら桜イルミネーション【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination 2021開催→12月 ・一目千本桜周辺の景観形成として船岡城址公園や白石川沿いの植栽を完了。 【2町共通】 ・台湾の旅行会社20社を訪問し、一目千本桜のPRを行った。 ・2町共通パンフ・マップ A6版(3月製作完了)	・2町共通桜パンフ、マップ製作(3月完了予定) ・一目千本桜景観形成100年記念事業	観光復興交付金（繰越） 町費	○			
基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	施策4 宿泊を促す体験・滞在型メニューの充実	①新たな体験・滞在型観光メニューの作成	多様な体験型観光メニューの作成 <b>【重点2】</b>	(50) 64	柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・「花のまち柴田」インバウンド推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業（「桜まつり」と「サイクルツーリズム」、「ナイトツーリズム」を核とした広域連携での滞在コンテンツの強化による魅力アップ強化事業）	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指すし、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	継続	【2町共通】 ・多言語対応和文化体験映像コンテンツ制作完了 「おがわら桜イルミネーション」 ・多言語対応ウェブサイト構築完了【柴田町】 ・スプリングフワワーフェスティバルR4.3月開催予定 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	【大河原町】 ・おがわら桜イルミネーション【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination 【2町共通】 ・2町共通桜パンフレット制作 ・一目千本桜景観形成100年記念事業（思い出フォトコンテスト、公用車ラッピング等）	観光復興交付金（繰越） 町費	○			
				(51)	柴田町	柴田町	・「花のまち柴田」インバウンド推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会	光のまちづくり推進事業（ナイトツーリズム）	オフタイム・オフシーズンの観光客数増加、知名度向上のため、各イベントでのライトアップ、イルミネーション、夜間イベントを開催する。	継続	・Shibata Fantasy Illumination 2021開催→12月	・Shibata Fantasy Illumination 2022開催	町費				
基本方針3 国内外から人が集まる「みやぎ蔵王」の観光基盤体制づくり	施策5 広域連携による多様な魅力ある周遊ルートの形成	①仙南地域の観光ルートの形成	隣接地域との連携による観光ルート形成	(63) 99	柴田町	柴田町	・みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会（県南2市9町）	ガーデンツーリズム推進事業	・みやぎ蔵王を背景とした花風景と観光を結び付け、宮城県南エリアの認知度や交流人口及び関係事項の増加を図る。 ・ガーデンツーリズムを推進するとともに、自然景観、温泉、歴史、文化等の観光資源を活用し、地域経済の活性化を図る。	R2～R4	・季節ごとのガーデンルートツアーの案を作成。 ・達成したツアーの、各市町担当者による視察研修を開催。そのヒアリングシートをもとにツアー案を練り上げ中。	・協議会のホームページを立ち上げ、令和3年度に達成したツアーや、協議会委員（行政・民間問わず）が行う事業を掲載することで、閲覧者が宮城県南エリアの情報を一括で取得できるものを目指す。	市町村振興総合補助金 町費	○	②		
				②交通情報及び観光サインの充実	分かりやすい観光サインの整備	(68) 82	柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・「花のまち柴田」インバウンド推進協議会 ・柴田町観光物産協会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業（インバウンドおもてなし受入環境整備強化事業）	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指すし、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	H28～R3	【R2からの繰越】 伊達政宗の騎馬像のタペストリーをしばたの駅土庫へ設置完了 ・JR船岡駅に多言語案内板等を設置		観光復興交付金	○	
				③観光情報の多言語化	多言語WEBサイトやガイドブック等による観光情報の発信 <b>【重点1(2)】</b>	(74) 11.29	柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・「花のまち柴田」インバウンド推進協議会 ・柴田町観光物産協会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業（インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業）	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指すし、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	継続	【大河原町】 ・おがわら桜イルミネーション【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination 2021開催→12月 ・一目千本桜周辺の景観形成として船岡城址公園や白石川沿いの植栽を完了。 【2町共通】 ・台湾の旅行会社20社を訪問し、一目千本桜のPRを行った。 ・2町共通パンフ・マップ A6版(3月製作完了)	【大河原町】 ・おがわら桜イルミネーション【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination 【2町共通】 ・2町共通桜パンフレット制作 ・一目千本桜景観形成100年記念事業（思い出フォトコンテスト、公用車ラッピング等）	観光復興交付金（繰越） 町費	○	
基本方針4 新型コロナウイルスからの回復のための取組	施策10 新型コロナウイルスからの回復のための取組	②地元の良さ再発見、磨き上げとPR等により、地域に利益を還元する取組	地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進 <b>【重点4】</b>	(99) 63	柴田町	柴田町	・みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会（県南2市9町）	ガーデンツーリズム推進事業	・みやぎ蔵王を背景とした花風景と観光を結び付け、宮城県南エリアの認知度や交流人口及び関係事項の増加を図る。 ・ガーデンツーリズムを推進するとともに、自然景観、温泉、歴史、文化等の観光資源を活用し、地域経済の活性化を図る。	R2～R4	・季節ごとのガーデンルートツアーの案を作成。 ・達成したツアーの、各市町担当者による視察研修を開催。そのヒアリングシートをもとにツアー案を練り上げ中。	・協議会のホームページを立ち上げ、令和3年度に達成したツアーや、協議会委員（行政・民間問わず）が行う事業を掲載することで、閲覧者が宮城県南エリアの情報を一括で取得できるものを目指す。	市町村振興総合補助金 町費	○	—		

仙南地域広域観光推進プランに係る令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画（施策順）

川崎町

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 <sup>(注1)</sup>	他自治体・関係団体等との連携 <sup>(注2)</sup>	事業名	事業概要	事業期間 <sup>(注3)</sup>	R3年度実績	R4年度計画	財源 <sup>(注4)</sup>	再掲	回復戦略
基本方針4 新型コロナからの回復のための取組	施策10 新型コロナからの回復のための取組	②地元の良さ再発見、磨き上げとPR等により、地域に利益を還元する取組	地元の魅力再発見による誘客促進・観光需要の創出 【重点4】	(116)	川崎町	川崎町観光協会	川崎町観光協会	宿泊クーポン発行事業	町内宿泊施設で使用できる割引クーポンを発行し、宿泊事業者の支援を行う。	R2～	・町内外から1690泊の需要を創出。	R3年度と同規模の1泊あたり5000円の補助を1600泊行う計画。	地方創生交付金	—	—
				(117)	川崎町	川崎町商工会	川崎町商工会	ふるさと応援商品券発行事業	町内全世帯へ商品券を配布することにより、消費喚起及び地元のよさを再発見する機会の創出を図る。	R2～	・約60,000千円の需要を創出。	町民1人当たり7000円の商品券を配布し、約60,000千円の需要を創出する。	地方創生交付金	—	—
				(117-1)	川崎町	川崎町		包括的シティプロモーション事業	新型コロナウイルスの影響により、荒吐は2年連続で中止となり、若い世代に向け、川崎町を広くPRする機会が失われた。これを挽回するため、様々なメディアを活用したシティプロモーションを実施するもの。	R3～	・サウンドロゴ制作(堂島孝平氏作曲) ・Youtubeコンテンツ制作(MC:バクコム) ・ラジオ番組制作(MC:バクコム) ・ラッピングバス広告(タケヤ交通)	・Youtubeコンテンツ制作 ・ラジオ番組制作	地方創生交付金	—	—

仙南地域広域観光推進プランに係る令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画（施策順）

丸森町

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 <sup>(注1)</sup>	他自治体・関係団体等との連携 <sup>(注2)</sup>	事業名	事業概要	事業期間 <sup>(注3)</sup>	R3年度実績	R4年度計画	財源 <sup>(注4)</sup>	再掲	回復戦略
基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	施策4 宿泊を促す体験・滞在型メニューの充実	①新たな体験・滞在型観光メニューの造成	多様な体験型観光メニューの造成 【重点2】	(49)	丸森町	(一財)丸森町観光物産振興公社	まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会	グリーン・ツーリズムと連動した旅行業展開	まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会と丸森「こらいん」ツーリストが連携し、農業にとどまらない体験メニュー商品を作成・販売	継続	・11月20(土)に町内トレッキングツアーを(町内路線バスの観光活用への試み) ・町内飲食店パンフレットを制作 ・町内の直売所などを周遊するスタンプラリーを実施 ・猫神さま紹介ツアー(少人数受け入れ)を複数回実施。	・季節の景観などを活かした体験メニューについて、オンライン予約販売の検討 ・季節の食をPRする企画の検討、実施(地域の生産者、飲食店と連携) ・受け入れコンテンツのための資料、マップの制作検討			
		③教育旅行等の誘致	教育旅行等の誘致活動	(57)	丸森町	丸森町	南宮城(仙台市から南側の県南4市9町)	滞在コンテンツ充実・強化事業① (中国との教育・スポーツ交流旅行推進事業)	・中国の教育旅行の誘致を行うとともに関係者を招請する。	継続	・コロナ禍の影響により中国との往来は控え、オンラインによる交流会に変更。 ・12月27日に自治体代表者と上海閔行区教育教区とのオンライン交流会を開催。 ・両国間学校交流や学校長・教育長等による交流、スポーツ関係者交流などもオンラインでの実施	R3終了	観光復興交付金		
基本方針3 国内外から人が集まる「みやぎ蔵王」の観光基盤体制づくり	施策9 観光振興を推進する連携体制の強化	①多様な関係主体が連携した一体的観光運営組織の運営	宮城インバウンドDMO推進協議会における観光戦略立案 【重点3】	(87)	丸森町	丸森町	南宮城(仙台市から南側の県南4市9町)	宮城インバウンドDMO推進協議会における観光戦略立案	沿岸2市2町を含む県南4市9町が連携した観光地域づくりのための戦略を立案する。	H29～	現在の協議会は令和3年度末をもって解散し、(一社)宮城インバウンドDMOから提案のあった新組織へ南宮城(4市9町)全市町が参加する方向で、臨時総会(書面開催)に諮り、正式決定した。	R3終了	各自自治体負担金		
基本方針4 新型コロナからの回復のための取組	施策10 新型コロナからの回復のための取組	②地元の良さ再発見、磨き上げとPR等により、地域に利益を還元する取組	地元の魅力再発見による誘客促進・観光需要の創出 【重点4】	(118)	丸森町	丸森町商工会	丸森町商工会	丸森町町内経済活性化事業	新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ地域経済の活性化を図る。	R3	【商品券全世帯配付】 ・R3.6月に町内全世帯に地域商品券を配布(郵送)1世帯あたり5,000円。使用期限R3.9.30まで 【5割増商品券販売会】 ・R3年11月27日に販売会を実施。1セット7500円分(500円×15枚綴り)を5,000円で販売した。 ・使用期限は、R4.2月末まで。	【5割増商品券販売会】 ・R4年6月11日に販売会を実施予定。1セット7500円分(500円×15枚綴り)を5,000円で販売する。 ・使用期限は、R4.9月末まで。 ※商品券の全世帯配付は実施しない。		—	—